

解答

問 4	設問 1				設問 2	
	a	b	c	d	(順不同)	
	エ	イ	エ	エ	ウ	エ

解説

設問 1

動的フィルタリング機能は、応答パケットについてフィルタリングの設定を行わず、パケットが通過したとき、一時的に、動的にフィルタリングの設定を行う機能です。たとえば、表2では、3行目のあて先がWebの設定では、Webからの応答（送信元がWeb）は動的にフィルタリングの設定が行われます。

a, b メールサーバは、社外とのメールのやり取りを行うので、メールの受信と送信があります。メールの受信（4行目、あて先がメールサーバの設定）は記述されているので、ここは、送信元が“メールサーバ”（空欄）、あて先が“任意”のフィルタリングの設定が必要です。また、メール転送のポート番号は“25”（空欄b）です。

c, d 管理用PCからは、メールサーバを介した外部とのメール送受信が可能なので、メール送信（ポート番号25）とメール受信（ポート番号110）を通過させる必要があります。管理用PCからメールサーバへのアクセスは記述されているので、ここは、送信元が“管理用PC”，あて先が“メールサーバ”（空欄c）のメール受信要求が必要で、メール受信のポート番号は“110”（空欄d）です。

設問 2

パケットフィルタリングは、パケットのヘッダ部を監視し、フィルタリングの設定に従ってパケットを通過させるかどうかを判断します。参照する情報は、IPアドレスとポート番号、およびパケットの方向だけです。

ア, イ いずれも、パケットの内容なので、パケットフィルタリングではチェックできません。

ウ ポート番号なので、チェックできます。

エ 不正アクセスによる攻撃は、IPアドレスをチェックすれば、ある程度は防御することができます。

オ ファイル流出は、パケットとは関係ありません。